

あしたもともだち

利尻町 複式教育研究部会

令和2年度 利尻町 複式教育研究部会の活動

1. 研究主題・活動方針・体制等

研究主題

『身につけた力を活用し、主体的に学習に取り組む子の育成』

～算数的活動を通して、思考力・表現力を育む授業づくり～

研究内容

(1) 問題解決のために、知識や情報を活用して取り組む姿勢を身に付ける

- ①基礎的・基本的な学力の定着
- ②自分の考えを表現する力の向上

(2) 学習に対して興味・関心を持って取り組み、難しい問題にも挑戦する心を養う

- ①発展的、応用的な問題に日常的に触れる機会の設定
- ②実生活と結びついた課題設定を通して、意欲的に学習へと取り組むための授業づくり

2. 令和2年度当初の活動計画

	月	日	研究内容	担当
①	4	20	具体的な研究方法の手立てに関する交流	研究
②	5	15	研修① LEGOを使った研修(プログラミング)	研究
③	6	18	授業公開①に向けた指導案検討	
④	6	25	模擬授業①	
⑤	6	30	授業公開① 事後研	
⑥	10	22	授業公開②に向けた指導案検討	
⑦	10	29	模擬授業②	
⑧	11	9	授業公開② 事後研	
	冬		2年間の課題と成果アンケート	研究
⑨	1	27	2年間の課題と成果	研究
⑩	2	10	次年度に向けての方向性	研究

3. 実施した活動・様子等(経緯含め)

今年度はコロナウイルスの影響もあったが、校内研究についてはほぼ予定通り行うことができた。2本の研究授業を通して、活発に意見を交換することで、深め合い、気づきのある実践的な研究となった。

本校の強みである「少人数」「ICT環境」を生かすことで、主体的に学ぶ児童の様子が見られた。今後はもう一歩進め、自分で気づき、活用、問題解決できる姿を目指していこうというまとめとなった。

4. 成果・課題・次年度の計画等

○掲示物の活用は、複式授業における問題解決の有効な手立てとなることがわかった。

○少人数でも、ICT 機器を活用した実物投影機を使った発表は、表現力の向上につながった。

○実生活と結びついた課題設定をし、そこからより身近で実感が持てるものにも触れていくことで、算数がより身近なものとなった。

▲説明の場面で、表示している箇所を示しながら、相手意識をもって説明できるようになるとよい。

▲実生活と結びついた課題設定によって学習意欲の向上につながってはいたが、「問題(課題)を自ら見出す」という点においては弱かった。

▲問題文をオリジナルで作成する場合は、子どもの思考の妨げにならないように留意して作成しなければならない。(文言、単位)

令和3年度に向けて

昨年度に引き続き、算数科における授業実践の向上を目的とした研究を進めてきており、研究の積み上げも感じられ、実りある研究活動となった。次年度へ向けても、本校児童の実態や強み、弱みを鑑みながら、よりよい研究計画づくりに取り組んでいく予定である。